

本市のデジタル化推進に係る現状について

小田原市はデジタル化を推進するに当たり、産学官による推進体制の整備及びデジタルデバイド対策に取り組んでいる。現状の取組として以下の事業を行う。

1 国立大学法人東京大学大学院情報学環との包括連携協定について

東京大学大学院情報学環の 越塚 登 教授に小田原市デジタル政策最高顧問及びスーパーシティ構想リードアーキテクトに就任いただいたことを契機として、東京大学大学院情報学環の知見を本市の発展につなげるため包括連携協定を締結する。

(1) 締結日：令和3年（2021年）7月1日（木）

(2) 主な目的

情報通信技術やデータ利活用に関する技術交流及び学術交流を通じて、東京大学大学院情報学環の教育研究及び小田原市の産業振興や地域課題の解決に資する取組を行う。

(3) 主な連携項目

- 東京大学情報学環は、情報通信技術やデータ利活用を通じた産業振興や地域課題の解決に資する研究や助言を小田原市に対して行う。
- 東京大学情報学環と小田原市は、最先端の情報通信技術やデータ利活用の研究成果と地域課題とのマッチング研究を行う。
- 小田原市は、東京大学情報学環が市内で実施する情報通信技術やデータ利活用に関する実習活動を支援する。

2 小田原デジタルデバイド対策研修会（仮称）の実施について

(1) 目的

本市は、デジタル技術を最大限に活用し、持続可能で活力あるまちづくりを推進することで、市民にとってより良い未来都市を実現するための取組を進めているが、現状、そのために必要なスキルを有していない市民の方々も存在する（情報格差（デジタルデバイド）の存在）。

本市として「誰一人として取り残さない」という理念を掲げ、情報通信技術の活用を希望するすべての市民がその恩恵を享受することができるよう進める必要がある。

このため、デジタル機器の基本的な操作方法、各種サービス（特に行政サービス）へのアプローチの仕方、情報の受け取り方等についてきめ細かく説明し、習得していただく「小田原デジタルデバイド対策研修会（仮称）」を開催する。

(2) 内容

研修会は、①講習会方式、②窓口相談方式の2通りの方法で行う。

市民にとって参加した意味のある効果的・効率的な研修とするため、デジタル機器の操作とその説明に習熟した民間事業者が中心となって行う。

研修会会場は、おだわらイノベーションラボをはじめとする市の施設や事業者の店舗等を想定している。

(3) スケジュール（予定）

令和3年（2021年）7月1日（※）	協力事業者と協定締結 (その後、新たな事業者と随時締結)
令和3年（2021年）8月	研修実施計画策定
令和3年（2021年）9月	研修会開始
令和4年（2022年）2月頃	令和4年度研修実施計画策定
令和4年（2022年）4月	令和4年度研修会開始
（※）小田原市デジタルイベント（仮称）に合わせて協定締結式を行う予定	

3 「小田原市デジタルイベント（仮称）」の開催について

おだわらイノベーションラボの開設式にあわせ、小田原市デジタルイベント（仮称）を以下のとおり開催する。

【開催日】

令和3年（2021年）7月1日（木）

【主な内容】

- 小田原市デジタルイノベーション協議会（D+）の取組紹介
 - デジタル化によるまちづくりに関する宣言など
- 東京大学大学院情報学環と小田原市との協定締結
- 「小田原デジタルデバイド対策研修会（仮称）」協力事業者と小田原市との協定締結
- 東京大学大学院情報学環 越塚 登 教授（小田原市デジタル政策最高顧問）による講演

【参加者】

D+役員（会員はオンライン）、来賓等

（おだわらイノベーションラボオープニングイベントについては別途）

※イベントはオンラインにより開催しライブ配信。後日録画配信予定。